

授業科目 公衆栄養学実習Ⅰ

【担当教員名】 村山伸子	対象学年	3	対象学科	栄養
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ、公衆栄養学実習Ⅰ、Ⅱを通じて、地域や職種等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報および住民ニーズを収集分析し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。特に、公衆栄養学実習Ⅰでは、公衆栄養学Ⅱ（講義）で学ぶ公衆栄養マネジメントの理論、公衆栄養アセスメント、計画、実施、評価の理論と方法について、実習をとおして体験的に学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 公衆栄養マネジメントの概念と枠組みについて、イメージし、記述できる。
2. 公衆栄養アセスメントの方法（食事調査等）を理解する。
3. 公衆栄養計画の立案の手法について理解する。
4. 栄養疫学のデザインや考え方を理解する。
5. 公衆栄養計画の評価方法について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	実習のオリエンテーション：実習の目的と進め方、事例紹介	1	講義
2	公衆栄養アセスメントの設計（食事調査と食生活調査項目設定）	1	ワークショップ
3	公衆栄養アセスメント：調査票の作成	2	ワークショップ
4	公衆栄養アセスメント：調査の実施	2、4	ワークショップ
5	公衆栄養アセスメント：調査の解析	2、4	ワークショップ
6	公衆栄養アセスメント：調査の解析	2、4	ワークショップ
7	公衆栄養アセスメント：調査結果から課題の抽出	2、4	ワークショップ
8	公衆栄養計画：目標の設定、優先順位づけ	3	ワークショップ
9	公衆栄養計画：事業計画（対象にアクセスするための地域資源の把握と連携）	3	ワークショップ
10	公衆栄養計画：事業計画（目的と対象にあったプログラムの作成、行動科学理論の活用）	3	ワークショップ
11	評価とモニタリング：プロセス評価の計画	5	ワークショップ
12	評価とモニタリング：影響、結果評価計画	4	ワークショップ
13	発表会	5	発表
14	発表会	1-5	発表

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	公衆栄養学Ⅱと共通			
参考書	公衆栄養学Ⅱと共通			
その他の資料				

【評価方法】 出席40% 積極的参加20% レポート40%	【履修上の留意点】 参加型の講義形式であるので、積極的に参加すること。論理的に考えることに慣れること。
--	--

健康栄養学科 専門